

令和3年度個別学力検査等

英語(A) 出題の意図

I

(A)

「食事を共にする意味」について書かれたパラグラフを読み、指定された箇所の意味を的確な日本語で表す力を問う問題である。たとえ分からない語があってもその意味を文脈から推測することが重要である。

(B)

手話を含む言語全般における表記・発音と意味内容との関係について、**blue** を例として述べた文章である。下線部の各文の文法的構造や趣旨を正確に把握して、意味の通る日本語で表現できるかを問うている。

II

クジラの声の変化について、人間の活動との関係において論じた英文である。やや複雑な論理性を含んだ英文を素材として、語彙力や文法力を含めた総合的な英語読解力を問うている。また、解答においては、問われた内容についての的確かつ簡潔な日本語にまとめる能力、文脈を適切に把握する能力、本文全体の趣旨を正確に理解する能力も必要になっている。

III

この問題では、人生で直面する課題の解決方法について、英語で、明確かつ論理的に述べる能力が求められる。

IV

(A) (すべての学部 of 志願者)

学ぶことの意味や重要性を説いた論旨を、基本的な語句と構文を用いて表現する力を問う問題である。「学べば学ぶほど」「学びたくなります」などを英語で的確に表せるかが重要である。

(B)

(イ) (文学部の志願者)

登山の経験とその記述の関係について述べた日本語の文章の意味を英語で表す問題である。こなれた日本語を自分の使える表現へと柔軟に解釈するパラフレーズ能力を問う。ふだんの英語学習において、日本語の構文と英語の構文との基本的な違いを正しく理解

して、英文を書く訓練をしていることが重要である。

(ロ) (文学部以外の学部の志願者)

問題文の論旨をよく理解してから構文を組み立てる必要がある。文の構成が「できなければ、～できない」であることに気づき、「～にしろ、～にしろ、～にしろ」「いかなる～があるのか」「言い切る」「翻意させる」などを自然な英語で表現できるかがポイントとなる。